

高等学校芸術科（書道）採点基準

2枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]					採点上の注意	配 点	
問一	ア	さんとうえんぴ						各2×5	
	イ	しんりゅうはんいんぼん							
	ウ	ごきさい							
	エ	ほうらいぎれ							
	オ	ていちょうゆうぞうぞうき							
問二	ア	手の甲を枕にして、反対側の手を上に載せて書く方法。					内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各3×5	
	イ	点画・字形・用筆などを写實的に表現すること。							
	ウ	木簡・竹簡などの文書を封じる粘土に差し出し人の印を押した もの。							
	エ	古人の筆跡の意。 主として平安から鎌倉にかけての仮名系統の名筆を指す。							
	オ	梁の周興嗣の著。 四字句で二百五十種、文字の重複がない韻文。							
問三	ア	① 不	② 足	③ 其	④ 熱	⑤ 霜	各2×5		
	イ	① 筆	② 令	③ 当	④ 草	⑤ 書	各2×5		
問四	ア	由来	関戸本古今集は、名古屋の関戸家が所蔵していることから関戸氏の名をもって「関戸本古今集」と呼ばれている。『古今和歌集』の古写本で、平安古筆の代表的遺品の一つでもある。					内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×3
		筆者	筆者は藤原行成と伝えられるが確証はなく、書風や料紙から院政時代までの十一世紀後半に当時の能書によって書かれたと推測されている。						
		料紙	料紙は菱紙の色紙で、漬け染めにより濃淡のついた緑、紫、茶、黄などの染紙が使われている。						
	イ	運筆に緩急抑揚の変化が多く、流動美に秀れ、品格が高い。ことに連綿の技法に卓絶している。太い線と細い線とが入りまじり、興に任せて自由に書いている。文字は万葉仮名の単体やカタカナもある。					内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5	
	ウ	おほえのちさと						3	
	エ	与	美	比	東	之	良	春	各2×7
	オ	是貞（これさだの）親王（みこ）の家の歌合に詠んだ歌					内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	3	
カ	月を見ていると、私の連想は際限なく展開して、あれこれと悲しいことだ。私一人だけのためにある秋ではないのだが。					内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5		
問五	ア	書の心がわかっていないものは、一点一画、すべて手本どおりになぞらえようとして、かえって拙い字にしてしまう。そのようにしては、決してりっぱな書にならない。					内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×2	
	イ	篆書の法に通ずると、字体に間違いがなくなるし、隷書の法に通ずると、筆の使い方に法則が生まれる。							

100

高等学校芸術科（書道）採点基準

2枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 (例)		採点上の注意	配 点	
二	問一	用筆・ 運筆	曹全碑は、逆筆蔵鋒を生かし、波磔は長くおおらかで流れるような美しさがある。 それに対して石門頌は、自然な抑揚、細い線の中にも強さがある。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各12×3	5.1
		字形	曹全碑は、扁平で清らかに流れ出るような波勢と緊密な点画の構成である。 それに対して石門頌は、飄々としていながらも悠然とした文字の構えである。			
		特徴・ 印象	曹全碑は、均齊のとれた穏やかで温雅流美な隷書である。 それに対して石門頌は、飾り気のない無心さ、自在さと、格調高い情趣に満ちた隷書である。			
	問二	清らかで穏やかな小川のほとりを吹き流れるようなイメージの「清風」を表現しようとする際には、「曹全碑」の流れ出るような波磔の伸びやかな表現、温雅流美さを生かすのに対し、見渡す限りの雄大な大地を、自在で悠然と吹き流れるイメージで「清風」を表現しようとする際には、「石門頌」の自然な抑揚、細い線の中にも強さのある表現、格調高い情趣を生かす。		問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	15	
三		知識・技能	・秦の始皇帝による天下統一後、各地方によって様々だった書体を統一した標準書体としての小篆の書の伝統と文化について理解している。 ・起筆の蔵鋒や等間隔の点画等の篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能を身に付けている。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	10	30
		思考・判断・表現	創作活動において、篆書の古典の書体や縦長で均整のとれた書風に即した起筆の蔵鋒や等間隔の点画等の用筆・運筆、水平垂直な点画、均一な太さで抑揚をつけず、均整のとれた字形、縦長で左右対称の均整のとれた全体の構成について構想し工夫している。		10	
		主体的に学習に取り組む態度	自身の意図に基づく表現、篆書の表現の特質に基づく幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。		10	
四		実用的な表現	実用における様々な場面に応じて効果的に伝えること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	7	19
	問一	芸術的な表現	・題材となる言葉の内容を踏まえて、書かれた文字や文字群の「造形性」を美しく表現すること。 ・表現された作品を通して自らの思いや感興、そして自己を表現すること。 ・自己の内なる感興の高まりによって表現形式が必然的に決まること。 ・鑑賞される際の表現効果等の外的な条件が表現上の目的となること。 ・「漢字の書」や「仮名の書」の伝統的な形式が用いられること。 ・伝統にこだわらない自由な表現形式が用いられること。	1つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	7	
	問二		内的欲求や外的刺激による感動によって起こる表現活動の原点というべきもの。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5	